

外科書  
下

一切腫物療治之覺書

一 瘰之見様初發ツヨリ痛モ有不痛モ有初不痛後ニ痛出  
 ルハ内外療治ノ誤也子細ハ初不痛生ハ陰性成故ニ病人モヨハ  
 ヲ見亦草臥ク様子有ハ依テ醫者補薬ヲ早ク用ル依之血  
 熱盛ニ成リ痛出ル也

一 外科之誤ハ腫物之口不明最補薬ヲ用サセ外ヨリ熱性ノ  
 薬ヲ付高ハ灸ナトスニ依依ニ痛出腫物モ大ク成リ此痛ヲ  
 止トテ内外ヨリ色々トユスレ氏本ニ成事有難惣而腫物ニ  
 内薬ヲ用時ハ切者ノ醫者ハ腫物時分リ外科ニ聞ヒタモセ



ニギノ薬加減ラズん何モ不知醫者不切至リ外科ヨリ指圖  
請る嫌也夫モ外科愚カナシハむ也忽而内外ヨリ治スん事  
拾遺ニセツ上ヨリ治スん

一 癰初發痛甚鋪内ニ虚性アリ亦實性アリ實ニテツヨク  
痛ハ血熱サカシニシテ痛ム此痛ヤリハ色赤ク根トリツヨク痛  
也虚性痛ハ色モナク根トリ小クシツミテ痛ム此ニツラ心  
得テ可療事第一也

一 癰虚ニ痛ヲ止ん事上ヨリハ成難然共此療治ニテ痛止也  
内薬ニ補薬不用シテ  
生姜 人参  
ホ合ニ春

合腫物ニカフセ蓋杉原切ヤハラカニ蓋膏一日一夜置テ  
取テノケ痛ウスヤカスハ赤木ノ薬ニ白蜜ヲ加付ル是ニテ  
痛止ト本方ノ療ニ取懸ルヤ

一 癰實ニテ痛ハ實ノ高ナリ此痛ヲ止ハ内薬也外ノシカケ  
テヤバルニラ付テ良是ニテ痛不止ハハシリコン  
ムズラキ上色ホ分ニ付テ良是ニテ痛止ト本方ノ療ニ取付  
ク此通之論ハ初發之シカケナリ

一 虚實共ニ痛ムヲ療治スんハ腫物ヲ見合テ仕懸ル也先ニ記  
一 癰疽發ハ癰ハ陽也疽ハ陰也癰疽ハ色ト赤ハ癰ニ陽

有瘰ニ陰アリ陰ニ赤陰アリ瘰モ亦如此ハ色也

一 瘰初テ發ニ血色ニメ小ク根ハリ大クヤエミアルハ惡シ

一 瘰初テ出ルニ根太ノコトク色トリ子ハリ廣ク痛ハヤルキ性也

一 瘰ノ見分テ惣而瘰ヲ出ス人ハ年久敷其ノ通ルコトアリ氣ヲ

遣或ハ血少ク順シ

一 一寸以上ヲ瘰ト云三寸以上ヲ瘰ト云ト極ヌレ共外ノ事ニア

ラス内ニ深キカ瘰ナリ瘰ハ陰ヲ司トん也

一 瘰瘰ニ内藥ノシヤケニ最光一補ノ位アリ此時分ノ内外ノ

内不知仁ハ療治成ヤクシ

一 三々ニ一補ノ位ハ腫物出生ノ其病人ノ祚ニ目ヲ付ツヨキ

ヨハキク知テ腫物出来様ヲスクラベヨハキ人ナラハ早ク腫

物ヲ破ル了見スル子細ハ躰ヨハケレハクサレ入事早シ是ニテ

消毒湯血熱ヲ去ノ方ニヨ早ク腫物ノ口ヲ明サテ補菜ヲシ

カ也人參一分五厘腫物口半分スギ明テ二分此内ニ病人

少ヨハリ腫物モシツミカハキアラハ二分五厘三分一度ニスコス事

不可有腫物口アカヌ前人参補菜用ニ依テ痛出ル腫物大

ク成アレキ事多シ腫物ハヤキリトリ病人草臥ヨキ事  
アリコニテ人參ノ五分七分或ハ一錢モ用ルツヨク草臥ツ  
キ時其上ハ大補ノ本方ニカセテ療治スヘシ一番ヨリ補  
薬ツヨクハ後カシジニ成テ何程用テモ補薬トカサル也  
上戸ノ少キ酒ニ不酔カコトク也補薬跡ニノコス心第一トスル  
メツキト草臥タルトキメツキト補薬ヲ用懸此ユマカ一ク  
トスヘシ三肢一補ト言位ヲユマス(中事也)

一 癩初發ヨリ虚實ニカハス療治ノシカケアリ根太ノコトク出生  
ノトキ上ニ灸ラフニエツス且是ル時アツミナク不覺アリ此様成

ニハ押付次才ニ大クシテ拾斗ス且タルカク灸一ツテモアツ  
ク又エカク覺ルアリ是ヤルキ性也ツヨクアツアルハ灸五六ツ  
シテ上ニバシリコシアホストロウルンニ色付テ上ニテヤバ  
ルニ付ル翌日亦灸ラシテ右ノコトクシカケ三日目ニ針ニテ  
ヤブル痛コトナシ内ヨリ膿取仕廻四五日ニテ愈ス

一 灸不覺ハ拾斗大クシテ翌日又前日ノコトク灸ラヌ且付薬同  
前也ケ様ニスルト腫物ヨハリツヨク大ニ成也是ニテニシナカノ灸ヨ

リワキニヒタモノ焼廣メ一日ニ二度ホトツ、如右スル也如此シテ三日目  
ヨリ脇ニシメウ懸ル也シメカケテ後ヒタモノ右ノコトク焼廣

メコトシテヤ申めん上モ燻テリシメノ懸様ハ五寸ニ出ル腫物ナラハ  
五寸五分ワキヨリシメニワスシシメ薬ハ サントラヲヤミニノベ六寸  
全幅ニヨク入りニ付ル毎日取替ヤシメヲチヤク腫物ノ内ニ入レバシニ  
ラス外ニ引取アリシハシニ此ワケ後ニ思知シ如此七八日メ大形  
腫物ノ内モジユクシメント思時上灸シメん通り一文字ニ切ケタムル  
上ニ又灸ヲスクシテ一通リニ篇程スエ其後中ニ ハシリコシ  
アホス 白散ヲ如綿ニ付フメニテヤハニヲ付其上ヲ厚紙ニ  
テ腫物ノワキニニ寸ヒロクシテヤミノ脇ニチヨ々トサントラヲ  
ヌリカフセテ其上ヲ木綿ニ巻風ノ不入様ニシテ

一 瘰一文字ニ切ニ日程間ヲキ又十文字ニ切テ切タムル上ヲ右ノ  
ノ如又シカケテ薬モ同ニ日程間ヲキグンリヲ切ラトシ中ヲ又  
灸ヲ腫物ノ口ヨリ少チイサクスエテ本ノ如薬ヲウタメニ付内  
又入テ右ノコトクシテラウ其後右ノ綿取出シ中ノ惡肉ソコト  
ト鋏ニテ切取又中ニ膿切ラゲキニ入 ハシリ アホス  
右ノコトクシテ入ル蓋膏丹茶右同前  
一 瘰内クサレ肉大ヤ取シテアキ肉見タム時愈ルト思ハヤラ  
不是モ惡肉也此肉ニ又白散ヲヒタモノヒヨリカケテ上ノ赤肉ト  
シ其下ニアハ赤肉出ん時ハシリコシ スタニコロスト

コシ加綿ニ付内ニ入ル腫物愈キワニナレハ一日一夜五分至  
完愈上ル者也腫物身一ハイニ成ル時サントラハナリニテ良  
一瘰癧ハ愈キハ一寸ニ成テモ必死ルモノ也此子細病人不養生  
ノユエ也補薬ヲツヨク用ニ依テ氣ツヨクニ好ニ一時ノ内  
ニクサシ大熱サシ出乱氣ニ成身内クダクニ成ル也必ケ様之  
事不知ハ好料ノ仕様悪ク或ハ早愈シルニ依テ内ヨリクサ  
レ出タルト云物也氣ツヨク付

一右之瘰癧治ノ仕様ハ本道ニカハハヌニヤリ也  
一瘰癧ニ多クシハハシトウトシテシメん処ニ見ル七文字ニ切コト

思前日ニ引薬

ロフトウリウシラ水ニメテ鳥羽ニテ一日引明日切ナリ

書曰瘰癧ハ氣血ニ得勝

此心ツヨク可含者也

瘡毒疥癬療治覚

一疥癬ニ様々アリスリ破有毛摺有少ク物出来イタムアリ  
イタムサルアリ初ヨリホシテトヘルアリカキヤフリタムアリ衣類  
ニテスリ破タムアリ何モ同性ニメカハナリ此理ハ根本濕ノフ  
カキ人ニハクヨト出来テモヒロクナリ或ハホシテトシヤアツヨク愈

兼者也此因スリヤフリクハ粉薬ニテモ不苦此外ハ粉薬付事  
不宣濕処ニ出ルヲ押付イヤセハ一旦ハイエテモ又ラカル其口ハラフ  
ラカ下別ノ取ニ出ルイワル時昔出タルニ倍ノ性悪クイワル亡心テ  
モ粉薬不可付也

一  
クイテイノ疥疔ニハ 白虎膏ニテ愈ス是ニテ愈兼ハ赤  
龍膏ニテ愈ス是ニテモ不愈ハアホスハシリスマニ此ニ名  
ホ分ニ付膿ヲ吸セ愈因上リタル時此薬ヲ引右ノ白虎膏龍  
膏分ニ付テイヤスコレテモ不愈ハ惡性也此時山帰来薬ヲ用ル  
此薬方先記

一 疥疔愈兼或ハ粉薬ニテ膿ヲ押エルニ依テ便毒トナル

一 便毒初發色ナク出タル時散スハシ テヤハルニニテ散ル是ニテ

一 不敷時ハ ハシリフシニテ敷一日一夜ニテモ不敷ハ上ニ灸ヲ五

ツ六ツメシテヤハルニ付テ散ス

一 右ノコトクニテモ散ザル時 サントラヲ付テ引上テ針ヲサス

也針ニハ切者有ニ依テ破リ様アリ

一 便毒ノ上ニ灸ヲ五ツ六ツスエタルアトヨリニ灸上ニスエカケワキ

一 へモ廣クスエヒロメ習日モ二三日カ間如此ノ三日程間ヲキ

一 カ一ニテフタヲハ子ヲコス其内ノ付薬ニハシリコシ良如是メ膿

ニ付也若膿ニ不付ハ内ブニメヤク其上ニ白散ヲ付サテ膿  
イテハメイチヤラサス口ヒロクハコミヲ入ルコミトハ綿ヲ腫物  
ク付程ニ丸シイトニテキリト巻膏藥ヲ是ニ付入ルコミヤワラ  
カニスル也

如此毎日カワラヌ因ハクニ成クニ時サントラニテイヤス

一 便毒口不明下ス瘡治有藥方先ニ記

一 便毒ヲ患リ瘡治スルハ梅瘡生ハ赤痲患シテ便毒出生

ト同シ

一 便毒ツヨククサレテワキヘコロナリ難儀ノ仕ヤ先付藥ハサント

ラ吉内藥ニテ治サスヘシ藥方先ニ記

一 楊梅瘡初發

一 楊梅本方ノ瘡治ハタムシノコトク出性モアリ又疱瘡ウル

シニケノ様ニ出性モアリ是流氏ニ庭鳥ヲ水ニテタキ一七日

用ル庭鳥格様ハ鳥一足ニ水并酒之合入テ五合ニタキ

食不用空腹ニ朝晝晩ニ少宛用是ニテ身内ノ惡濕ヲ

出シ氣血ヲ調サセ此上ニ山帰來藥ヲ二廻リ三廻リ用ルケ

様ニ瘡治シテハ一代身ノ内滞ナク也藥方先ニ記

一 楊梅滯テ瘡毒ニ成瘡毒ニハ三毒トテニツアリ

疔毒 骨毒 肥皮毒 此ニツノ内疔毒ノ性六ヶ敷疔毒  
ハ鼻耳口中眼此取ニ生テ躰ヲソコナフ骨毒ハ手足痛骨  
ニ通テ自由ナラス肥皮毒ハ皮一重ノ内ヨリ生テ首ノアタリ  
或尻ハ寸ニ成リ皮一重ヲクハツテ治難ニツヒニ本ト疔疔ヨリト  
コホリダシクニ如是成リ疔毒骨毒ノ性ハ疔疔便毒ノ内  
ニ冷藥ヲラフニツミムヘユ也

疔毒ノ性ト見届タラハ山帰来藥ヲ用ル上ニ瘡治ハクウサレ也  
藥方之ニ記ナニ日月ハ方クニ廻リ呈用ルナリ藥用ル日  
数スクナケレハ跡ニモトリテ悪シ物而一切ノ痛其時分ラ藥ニ

應スル時一代人間時ニアユルコトクニムナキモハ藥ズカクト  
應時ニ押アケスキル程ニ用ルト重テラフラスニ本ニカユラズ  
平愈スル也世上ハ少平愈スルトアトハヨカルシトタノミテミナ  
悪クスルナリ是ニテハ本ノ病位ヲシテ五双倍モツヨクナン藥モ  
又其コトクヲモクナリテ弥ムワアシク成リ此心ヲヨク油取不  
可有

骨毒ノ性界ウツキ筋引ツリ。手足モテ自由ナラサル時外  
治ニハムシ藥ヲシテ油藥ヲ温メヌリヌハフクノ藥ニテスリ  
此上ニ膏藥ニハラシコロシヨメリロウトゲリジウニテヘンシイ

フニ右四色ヲ子リ合モナニノへ付上ラ木綿ニテ巻テ置毎日  
如是ノ内薬用ハ藥方先ニ記

一 瘡毒ノ性ハ濕骨ニ留テ痛ム此性ハ疔毒ヨリ少ヤ口キ取  
有リ此療治時分ノヨウ應スレハ右ノ方ニテ治スル事神妙也  
一 肥皮毒ノ性ハ結勻六ヶ敷者シ和名ニ氣腫ト言モ皮肉  
ノ濕熱ヲ生ルケルナトニ生ル此氣腫ハ五年モ  
十年モ能外科ニ不合ハ治スル事ナシ又尻ハ寸ノ性ニ成テ  
穴十モ十五モ有者シ右氣種ノ上ニ付ルハサシトララ付テ  
内薬山歸來用也尻ハ寸ノ穴ニハメイチヤヲサスメイチ

ヤ藥如常上ニサシトラ也是モ山歸來曰方用也藥方先ニ  
記

一 瘡毒ニツノ性曰疔疔ノ内ニ濕火ニテ内外不及難治有此  
時ノ療治ハ仕様右ノ性理書れハテ病虛ニハ藥不届也此時カ

キ藥ヲスル也藥方先ニ記物而一切ノ腫物治ハ又ラウル事

アルハ藥ヲ二廻ニテモ二廻ニテモ用腫物治スルト其ハ禁物

ヲヤウリ食スルニ依テ藥カイニ又内ニ順シノコル取キ毒食

ニアタツテ忽ニ本ニソエラヤケテ惡ク成惣而藥用シニイテ

モ跡其藥用タシ日數禁食ヲ堅ツシニ療治スル也後

悪ク成まんヲ外科アヤニリノヤウニ凡人言之ニ様ノ取皆有  
印事也

一 瘰癧ハ初発ヨリ痛ナク珠数ヲナラハまん如ク生ん者也初発  
ズイフニ散スツシケリ油薬ノ方先ニ記ス物而瘰癧ハ口ノ  
不明ヤリニ得テ療治專一也口明ト難治者也ケラス心ノ  
薬ニテヤウシまんハ治シ安シ此方ヨリヤフん心ノ療治スルトヤフん  
テ悪ク成也男女ナシ七八計ノ時分必生ん婦ノナスト男女凡ニ  
毒深ク成テ死ん事極リナリ也男ヲ不主男ハ女ヲ不主  
時能治ん也

一 ヤフシヒロツリタニニ懸ルニ付葉サントラ宛有ハメイチヤサス  
メイチヤ葉如常内葉山帰来葉也

一 瘰癧ノ生ハ熱痰ノナス取ナリ毒食堅スヘヤラス

一 瘰癧首ハハリニ生テ後ム子ニ来リ死ス首ニ有内ニ可調  
事第一也

一 乳岩之事

右ノ性ハ十年モ廿年モ生メ石ノ如クメ散モセス有者ハ先瘰癧  
見ルハ一タニハ散ルハ又ラツテ痛出ル時ケリラシコロシヨ  
付置ク是ニテ引上膿也其時口明ヲ付テ明ル者尾ニヨリ

針ヲモサス口明ケテモ五年十年不治有者也然モ予此ア  
ケラユ夫ノ内某ニテナラス信ニ道ヲ深ク修行スルハ天ヨリイ  
タハリアント見ヘタリ此方先ニ記ス

一 乳岩ヤフシテ付ンハサントラ良膿内ニアラハコヨ某アホスハシリ  
白敷ツケテ上ニサントラ付ン

一 乳癰之事 乳癰

初発痛ツク色赤ク生レヤ初発ニハシリコシラ乳癰一  
ニ木綿ニツクノ人テ付ン十ニ九ツハ敷ヤケラサレハ甚ク口明  
ナリ口ニメイケヤラサスマイケヤ某右ニ向ナリヤラサスマシニ

大クシテ口ノヒロクンヤラシムンヤ上ニハサシホラ付ン

一 乳癰外科要クハ念ス事不成ノ中半ニ瘡治ニ懸ン時洗

草ニテ洗イマイケヤ某入ン右同上ニサントラ付ン

一 乳癰内某千金内托敷用テハヤク治スルナリ

一 疔ノ事

初発ヤユモ有テハリノサキノヤリニイラノト出モアリ又ハカユ

ニモヤクフツクト出テ上ハウミツキテ生ンモアリ是派氏ニ蘇

竜膏ヲ付ントケン敷ズ氏口明テモドノ道ニ此某不痛

メ治スル事早シ疔ニヤキラス此膏神効成就秘スんヤ

一 疔ハ悪ク瘡治スレハ俄ニ悪性ト成也悪キ瘡治トハ疔ニ  
引葉粉葉或疔拔トテ五巴草ト付ル事也右ノ葉ニ  
テ治スルモアリ夫ハ其一、置テモ治ん疔也真ノ疔ニ成テハ  
右ノ葉ノ合悪シケ様ノ事ハアタリ見サレハ不知也

一 疔悪ク成中半ニ瘡治ニ懸リタム時ハ第一内葉ニ面ノ疔ナ  
トハ片時内ニ面一尺程ハし上リムラサキ色ニ成テ一トニ悪肉ヲ  
ツレハ齒ハカリノウリテスサシ中<sub>ニ</sub>也ケ様ノ物ニアタリタム時ハ十  
死ニ生モナ<sub>ル</sub>也<sub>ハ</sub>シカレ<sub>ハ</sub>内<sub>ニ</sub>及<sub>ニ</sub>大<sub>ニ</sub>有<sub>ル</sub>元氣ヲ見<sub>ル</sub>分<sub>ク</sub>シカ<sub>ニ</sub>ア  
ラハ一瘡治ス<sub>レ</sub>外<sub>ニ</sub>科ノ大事ハワヨ<sub>ク</sub>中<sub>ニ</sub>付<sub>ル</sub>サ<sub>レ</sub>セ<sub>ル</sub>ス<sub>ト</sub>エ<sub>ル</sub>ハ<sub>ラ</sub>

一 ミツヨク氏ソレニカ<sub>ニ</sub>ハス赤龍膏本綿ワタニ<sub>テ</sub>付<sub>ル</sub>上<sub>ニ</sub>ハ  
補中益氣湯ニ人參<sub>一</sub>ニ<sub>一</sub>ニ<sub>一</sub>ホトノ内<sub>ナリ</sub>此生ツヨク上<sub>ニ</sub>氣  
スルニ依<sub>テ</sub>其<sub>心</sub>得<sub>專</sub>一ニスルユ<sub>ニ</sub>膿ヲ<sub>ツ</sub>シ<sub>テ</sub>モスハスル葉<sub>ハ</sub>氣  
ヲノホスル也此故ニ右ノ瘡治也

一 疔ハリサレ、ニハヤシウムニハヤシソレニ依<sub>テ</sub>死スルモハヤリ死ん也  
疔ノ事

一 疔ニ色々アリ醫書ニモ出<sub>タリ</sub>イホ<sub>ク</sub>アリタツカラ疔<sub>キ</sub>  
レ疔何モ瘡治ヤルヤイホ疔ノ時ハ上<sub>ニ</sub>灸<sub>キ</sub>ニサ<sub>レ</sub>ト  
ラニテ良又イホ疔ニカ<sub>ハ</sub>リタム有<sub>ル</sub>ム<sub>ク</sub>ロウ<sub>ホ</sub>ト<sub>ニ</sub>ツ<sub>フ</sub>ラ<sub>ク</sub>ト<sub>出</sub>

テソノ内ヨリ血出ルコシモイホノ本ヲトリニハシヤ申均テサントラ  
付テ治ス心安瘡治ナレモ直ニ灸ラスルヲアヤフムニヨツテムツヤシ  
ク覺也一ニこ瘡治スレハヨリ覺悟也

クツツワウ常ニ出ルハ色々ノ葉アリ誰モナラスナリ其内ニヨキ  
葉ハ出タム時アモメリノ油ユリノ油ニイロヲ温メテ付一日メ不  
入トキ肉主丁香皮セシテ出タム痔ヲ洗右ノ二色ノ油温  
メテクルリニヌリ綿ニテラシコム入テモユルメスツサユテ一時半モラ  
ク也是ニテヨシ

ムツヤウヤウワシノホト出テ痛事タヌ入討シ是ニムツヤシキ瘡治

ナレ氏立所ニ治メイサキヨシ

右ノ如出タム時病人ホトリニ人ニアリクモヒ、キ難儀スルホトラ  
ニツイタミ止ヤウ 海ヤシホラ一ツ細々トキサレツタツアム取

ナラハフタツニクヘ此ケフリヲワキニモレヌヤウニ病人コタツノ上ニ

ナラシケフリノアタムンヤウニスルコタツノ上ニ板ヲワタシワキヲフトニテ

包テアウルモシ居ナラリモナラヌハ病人ヲ子セテ置曲物ヲ火入ノ

上ニカフセ穴ヲ明テヨキホトノ竹ヲ入テソノ内ヲケムリノヤヨウヤ

ウニメ火入ニヤシラ、クヘテ痔ニアツンケフリアタムト痛ヤムソノ時氣

ヲツクロイ立置テ洗葉ニテアライサテ粉葉ヲ兩ノ手ノ内ニシキ

テ西ノ午ニテ押込ナリ寢テ病人イタカハカハストテサセテラ  
キ一心ニ押入ル即坐ニ入ルナリ其後トメ灸アリ 魚ノ尾サキヨリ  
一寸五分上ニ一寸ツ、同置ニ所十一宛ヤクナリ是ニテ一代ラコラス  
キレ痔トテ肛門ノアタリヒラクト出テラコル時ヤクナリイタミ  
ツヨク痛時血走ルヤルヤ性也ツヨクラコリ痛時オノ油又リテ  
良又ロウサノ油又リテ良是ニテ治セス丹ノ又リテ良

一 穴痔ハ肛門ノ一寸五分ヨリ内ナンハ漏ノ性也此性ノ穴六寸歳ヨリ  
内ニテ治スル事ナ中者ヤロラ愈セハツヨク痛出後日ニ悪クナ  
此療治ハ痔ノウラニキせんノ竹ノコトクナ根アリコシハ膿ニ成テ出

ナリウミトリヤウ則メイチヤラサスメイチヤ葉アホストロウ  
ニニ赤龍膏亦分ニシテ入ル明クシ如此ノウニヒモノイウん病  
人養性ヨキ人ハ早ク穴アサリ成改カニメイチヤミチヤクメ入  
ルサテ皮ト曰ヤリニ愈アカリタム時サントラハヤリ付テ置ク惣  
而穴痔ノ療治ハ一年モ二年モスナリスクナクノハ治ル事成カ  
タシ委細ハヒ記

一 尻ハ寸ト云ニツアリ右ノ穴痔肛門ノ二寸五分ワキニ出テ皮肉ハ  
内ラヒモノク、リテ五ツモ六ツモ穴有也此仕様大方右ニ曰少  
カワルハメイチヤサス葉モ日前穴イウツアトテモクチハ別ニ

ツ宛ニテ内ハ一面ナリメイチヤサセハヒタモノ皮ウスケナリ穴モ  
アサクナン此時ニ皮ヲキリテトリ洗茶ニテ洗テ跡ニサントラ付  
テ愈ス少ク傳有

一 尻ハ寸ニ瘡毒ノハ寸アリ此任懸先ニ記

一 風毒腫ノ事

初榮身色ニ甚痛有物也四日五日ニテ内ハ引茶ニテチラ  
ス散スト此茶ニ我定セリモし是ニテ不敷時ハ早ク温んじ  
付茶ニハラシコロシヨラリウシ此ニ色ニテ大方ハ敷也此ハ前ノ  
引茶寒茶也風毒毒入テ凡熱スルニ依テ寒茶ヲ以散ス不

敷時其上ヲ熱茶ヲ以散ス是ハ順方ノ事也寒シク冷ニテ散シ  
又ハ熱ク温ニテチラスカヤリノ理ヲカケハ療治ワキニナンニヨ  
ワテ大方也後ハ合点ヲラノワカラスル也

一 凡毒是非氏ニ不敷ト申時分見合針ヲサス此時分ハ右々ノ療  
治ニテユカヌ日敷ヲツモリ十五日ヲ過ト早ク針ヲサス也針サ  
ス時腫ノ上ラヒタモノヲシテ見ルトクホキ所アリ是ヲ針目ニ覺  
ル也モシ所アレクハワキ一引トリ針サス膿ヲチク覺ハ一寸五分  
モ深立シ惣而風腫ノ膿ツキヲ見令ん者ハ少ヤル一ツ切ツモラ  
ヌ内ハ日敷ニテ如右氣ヲ付テ針ヲサス一ツアタラズト云氏ト

ラヤラス苦ハヨク午ニハニナシテ筋ヲ切クンユエト言傳ハサラス  
腫物ヲ久ク口明ス内ヲクサラカシテ血ノ通イラヤメ脈ヲトメ  
クンユエシ針何ホト深シテモセ弗ニアムン事ナシウラハツキ又ク  
ト思フテ立んツシサチ口明テウシ出メイチヤリサス右曰フタニサセ  
トウ良内茶午金内拵敷ヨシ如此ハ愈上リメイチヤミシヤク  
成クン時メイチヤ茶ラヤクスツシ白虎膏ナト可加口ニ愈上リ  
クン時サシトウ針ニテ良

一 風毒ス中ト愈テ不自由成ツシ寢ニテ必セ筋ノ切クント思フヤラ  
ス不順シテアリ寢ニテムシ茶ラシテ油茶又ツ上ニメリロウト

テヘンシイブンホ分ニ付テ良順シ

### 疾疽ノ事

初発痛時ツヒキノ油 土ノ油 二色一日付テ敷ス是ニテ不  
敷時テヤハル一日付テ見ル大方ハ是ニテ敷ナリ又チラサ  
時指ヲトリハサシ灸ラシテ其上ニテヤハル一日付テチラス又チ  
ラサル時ツヒツトリモチ相應ニツキマセユヒニクフタニカミ  
ラスハ是ニテ痛止又止サレ時ハハシリコシ一日二日付膿ツキ  
クン所アリ寢ニ針ヲサスナリハリ早クサセハ痛甚出者セウ  
ニ出テ跡ニハハシリコシフタニサントウ付テ愈ス指ノ肉ニ白キ



一切小瘡ノ事

小瘡ニ様々ナリアリ知名ニヒセシヤサト云ニモコニカ成有大成  
有此内カクツヨク出ん有ツヨク痛ム有ツノノ薬書ニ記

スロ<sup>ク</sup>ノシカケ

スロ瘡治ハサノクマラハ分呈ノ長サニハラ上下ハリテ置  
切ナリ切ヤウハコテハサニニテ皮ヲ両方切テトん片方キレハ血多  
出切ニクキ者ヤ成呈キ早ニ切跡ヲ燧酒ニテ洗サテヌウ  
シ口ヒルノ内ニ所外ニ所ヌウテ其後ハ金瘡ノ仕懸也七  
日ノ内常ノ食中セヌヤユウヌウノニテ病入病人腹立スル

事笑事嬉事堅イニシム

一 阿蘭陀流外科之師カスハルト云ハ正保五年ニ日本ニ渡ル  
為 上意江戸江参公ス其時ノ通事猪俣傳兵衛  
傳兵衛事江戸ニテカスハル不思儀成療治数多見届  
則カスハル弟子ニ成傳兵衛子傳四郎是モ通詞タル  
ニ依テ外科ノ事ハサノニ望モナク某事内縁之者ニテ  
拾之歳ヨリ傳兵衛弟子ニ成拾四五ヨリ療治修行セ  
リ當地ニ知者多拾年後ニヤト云外科渡ル其時  
ヤシカ子ニ成若山口嘉研内田藤元等ノ堀意半某也  
是ヨリ阿蘭陀流世上ニ廣ル傳兵衛役並指上子傳四

...

即向井元成門子ニ成松順ト号此時傳兵衛某ニツリテ  
凡書物某ヨリ写し取

一 十七方ト云阿蘭陀膏藥ノ方有ハ川口市即左衛門ト云  
生所平戸之者也當津ニ来リ某近付成内中町日行使ラ某  
居ル町故持セ一二年勤此時外科之才子ニ膏藥カスル  
流四方之内十七書後傳其後某子近心ニ修行ス跡ニ  
テテセ方ヲ不ニシテ金屋町甫庵ト不道ニ紐ノ書ヲ徧ニ一  
部ニ目家ニ賣ル此書物日本國中ニ弘ルカテシテ哉是ラ人  
ヲソコテ痛メ外科ト呼ル者當此ニ多ク有レシ後川口良

庵ト云委細ヲ書出ハ人ノウチカイヲシラセシムル

一 阿蘭陀流根本之事ハ松順某ヨリ外ニ不可有是ハカスハ  
ル流ノ金儀也為心得如件

一 カスハ流某ニ替リ有事ノモシ一切腫物之仕懸也某四十年  
余修行シケレニ此道ヲワケカスシ日本國大方ハ廻リケレ  
余ノ所ニモ上ノ各ヲ不聞時ニアル者ハ不知數其道ヲ得ル  
ハ無キ物也ト古人ノ言傳ル

一 此四性ノ療治ノ訣ハカスハ書出シタム故ニロニ記ス

執寒風痰見様

一 熱ヨリ生々腫物赤ク子トリ大クメ痛ワヨ中物也

一 冷ヨリ生々腫物灰色ニメ痛ナクメ子ト腫上ル物也俄ニ痛出ル事無シ

一 風氣ヨリ生々腫物年ニテイロイ見レハ和カニメ痛ミナク色ヲ見レハスチワタリ見ル物也

一 痰ヨリ生々腫物身色ニメコフコトク腫上リテ堅キ物也痛事ナシ

療治之事

一 熱ヨリ生々腫物甚シキ痛止メハ口ウサカ油ヲ温メヒタモノ

ナリ痛止トエシハコトテヘシイフニテヤキロシテ合付ル是ニテ

散也若不散ノタメニタラハ膿ムト知レシウニタル時ニ針ヲ

サスニ別針目ニメイチヤラサスヘシメイチヤサアホストロウニ

ニハシリコシ其上ニメリロウト付ルシウニフソクアラバヘシヒタ

ル加メイチヤラサシ入ル也愈因上リ時合メイチヤラトンメイチヤ

久シケレハ愈兼也是ニテ熱性ノ腫物平愈スル也

一 冷ヨリ生々腫物口ヲ明時合右ニ同膿ノ色白ク子トナリナク

物シ針ヲスルニ傳布リ病人ヨハリ大病ニ及テハ急ニ針サス

事第一シラソクヤラシ腫物肉ニシミ入テ強ク腫物重ク成也

タイヤラサス時分右同前著右月

一 風氣ヨリ生ん腫物針ツサス事悉しロフトウリウシ付テ口明ル也膿ノ色ハ玉子ノ白味ノコトウ有く則タイヤラサスメイチヤ薬同右惣而一切ノ腫物口明ルハロフトフリウシニテ明めん良先ニ薬極様ヲ記

一 痰ヨリ生ん腫物モ針ツサス事悉シテヘコシイブニチリシウシニ色等々アニ合付置ソコト敷ヤ敷ズコブニ成めん時ハイコリコトトウシリコニロフトウリウシ加エ付シハ己ト口明テ後ようチヤ薬アホストロウんハシリコ也如此シテ後内ガリ白キ物出

ルコ是ヲ取出ス瘡は右之メイチヤ薬ニ白丸ヲ加テ入んむペシコヒめんモ昔内ニ無淨時愈ス大方ハ敷ス仁懸去痰性ハ口明テ後難愈物シメイチヤノ作り様ニ口傳有

ロフトフリウシ極様 一名トフトウリシ

一 クヌギノ灰 一斗 一 カシノ木ノ灰 一斗

一 石灰 五升

右水ヲニヤシコメト付六月ノ日ニ乾一日ニニ度程カチ交亦二日呈乾其後コシテ粉ヲ去水ハチリ取日ニ乾十日呈メ指ノ先ニ付テ見んニキリトスル時コイトロニ入風ノイナウ様ニ置

ふるして五七日をソッし取鍋ニ入煉諾焼物之類ニ入テ置也  
此薬曰生ラ見ス事思し水ニ也カスハル此薬ヲ取分テ秘せり

カスハル流四十一方内 イニクニト 二十三  
ユニハラスト 十八

イニクニトテヤルテヤ

一 茴香ノ油 鷹ノ油 大ノ油 アヒルノ油 菊ノ油 各

九月 フタノ油 冬 ツノ油 冬 石ノ油 エノ油 各

九月 ユリノ油 野牛ノ油 各 十 蓮ノ油 百目

アワモリノ油ヲ使フ アラ申 十五目

右油膏也煉様口傳

能筋延也仕至療はノ書ニ有リ

イニクニトテヤボニボリコ

一 アセトウチノ油 半斤 小茄子草 半斤

白蠟 百廿目 唐ノ土 廿目 石膏 廿目

ホトリ 燻丁

煉様同前

能一切腫物生皮小瘡ノ類ニ付テ良疥疔ニ付テモ吉

イニクエニトアホストロフルン

一 扱ノ脂 十と 乳香 十五 没薬 十と 薑陸 十と

白蠟 廿日 袋角 一と馬 録青 五と 酢 加減

煉様酢ヲ後ニ入

能みうや薬也膿切し

イニクエニトエリナチヤツシ

一 白蜜 百と 録青 四十日 明瓦 雲十二と 酢 五十日

煉様口傳

能肉より過る時付ハ平ニ成じ日腫ト云瘡有ハ其時上ヲ破リ

内ニ入テ上ニテヤハルニ付テ置也此膏腸ニ有方ナシ氏此方  
ト各別し  
イニクエニトヲリウシ

一 蠟 五十日 扱ノ脂 十と 薑陸 十と 乳香 八と

サフラン 五と 松脂 五と 油 五十日

煉様同前

能一切ノ痛ヲ止ヨリチラス也

イニクエニトアハホニコクトシ

一 蜜陀僧 五と 銀ノルカス 五と 唐ノ土 五と 竜腦 七分

玉子ノ油 三斗

油 十斗

酢 十斗

煉様 同前

能 一切ノ腫物熱ヲサマシ諸毒虫臭ニサシムニ良

イニクエントテレイトシ

銀ノ口カス 十斗

唐ノ土 十斗

油 五十斗

酢 五十斗

白蠟 三十斗

煉様 同前

イニクエントバシリコシ

蠟 八十斗

イヤシロ

松脂 五十斗

油 百斗

煉様 同前

能 一切ノ腫物膿ヲ散シ口明吸愈スメイイヤニモ使

イニクエントエシトシヤコシ

録青 五十斗

明瓦 十斗

白蜜 百斗

酢 五十斗

煉様 口傳

能 諸腫物腐レラ留メ痛ヲ能止能散ス色々使様有

イニクエントラシユウフントム

イヤシロ 八十斗

蠟 八十斗

薰陸 八十斗

フタノ油 十斗

油 十斗

煉様 同前

能古中腫物ニ付テ良胤ノ咬破ムンニ吉

イニクエントスヌニラロスト

一 丹 四十目 蟻 廿目 甲リニ血 五々 辰砂 五分 椰子油 廿目

ニニテウカ 廿目

煉様同前

能一切ノ愈薬也(瘡)様ニキ色々ノ徳アリ

イニクエントカニラトシ

一 花ノ油 百目 白蠟 廿目 章肥 ヤチ区シ

煉様同前

能熱性ノ物ヲキラス下疳一切小瘡ノ類ニ良

イニクエントアラシガザルフ

一 白蠟 廿目 丹 廿目 油 八十目

煉様同前

能ヤケドニ良目ノアムリニ出ムン小瘡ニ良

イニクエントアトストシ

一 竜胆 廿目 章肥 ヤチ 唐ノ土 十目 松脂 水花

フタノ油 十目 白蠟 廿目 油 廿目

煉様口傳有リ

能疵ニ良ヤケトニモ良

イニクエニトフレイトブロウ

丁子 ろよ ニクワク ろよ 白蠟 世目 コニキノ油 ろよ

イノシトノ油 ろよ 野菊ノ油 ろよ フタノ油 ろよ

煉様日前

能一切ノ敷シニ付テ良

イニクエニトキビシヨシ

玉子ノ美味 四ツ分 ヤシホノ油 ろよ 板脂 ろよ ハウヤ ろよ

煉様日前

能一切愈業也瘡トト愈業ニ良古疵ニ良

イニクエニトセイんハウブト

ツヅノ実ノ油 ろよ 椿ノ実ノ油 ろよ 黄蠟 ろよ

煉様日前

能痛ヲ能止ルイヤシモスんし

イニクエニトテイケステイフ

白蠟 世目 唐ノ玉 ナメ ロウサ 世目 ケイフ ニ 油 世目

煉様日前

能一切腫物小瘡イヤス熱性ノ物ヲヨクチケス

イコクエトトカリヨビリロフル

宿砂 三々 紫貝 三々 ハウヤ 三々 竜肥 三々 丹 十々

广香 三々 油 卅目

煉様曰前

能痔ノマイトヤニスリテ良水瘡ノ類ニ付テ良

イコクエトツラコフ

ウコシ 三々 松ノ脂 三々 アシノ油 三々 芫蛄 十々 松脂 三々

煉様曰前

能一切ノ腫物ヲ能散ス痛ヲ止愈兼ハ腫物ニ良

イニクエトイフニイビリト

椰子油 三々 玉子黄 卅分 フタノ油 三々

煉様曰前

能疵草や糸ヲ取後ニ付ル

イコクエトツラコフ

辰砂 三々 丹 十々 椰子油 三々 雞油 三々 白蠟 十々 油 十々

煉様曰

能愈兼ハ腫物古疵ニ良

イニクエトウ、ルスト

一 くらノ花 卅 山ノ甲ノ花 卅 石膏 五 乳香 丁

白蟻 丁 油

煉様 日前

能一切ノ腫物ヲ散ス凡毒ニ付テ良

イニハラストカラサテイヤ

一 黄蠟 四十目 松脂 四十目 野牛ノ油 四十目 収脂 卅

乳香 五

煉様 中より煉ル

能一切ノフタ膏毒也能熟寒に散ス痛ヲ止和んじ

一 猪ノイニハラストテヤハル

蜜陀僧 百目 無名異 百目 野牛ノ油 四十目

明凡 卅目 白蟻 五 油 百目

煉様 日前

能一切ノフタニ使能痛ヲ止テ身釘ヲ踏込まんニ良

イニハラストデヘンレイゲン

一 紫檀 十五目 口ウサノ油 十五目 イハラノ花ノ油 十五目 生肌 二

五 夕フノ実ノ油 五十五目 白蟻 百目 油 十五目 乳香 十五目

煉様 同前

能一切散し痛ヲ止筋引ツルニ下ニ筋延ノ油塗上ニテヘニシイ  
ブンメリロウトラシコロシヨ等合ニ合付

此テヘニシイフシノ方ヤスハル秘方シ他方ト千カユリ

イニハラストラシコロシヨ

黄蠟 廿五 松脂 廿五 キリン血 十五 千ヤシ 廿五

紅花 十五 蘇子蘇子ハクシノ実 廿五 烏サギ肉 乾テ 廿五 枳脂 廿五

没薬 廿五 油 廿五

煉様同前

能于身骨継一切腫物散ス膿ス使様ヨリテ妙有

イニハラストケリジウシ

無明異 十五 白蠟 廿五 樟腦 之々 蜜陀僧 廿五

唐ノ玉 五々 没薬 之々 玉乳香 之々 野牛油 廿五

油 十五

煉様同前

能一切ノ腫物ヲヘラシ痛ヲ能止ル大徳有膏草

イニハラストカラスヨテ

白蠟 五十五 乳香 廿五 鹿ノ油 廿五 枳ノ脂 十五

玉乳香 五々 録青 之々 油 十五

煉様同前

能金瘡ニ付テ良平成膏藥也

イニハラストテヤヒロシ

シヤワウツリ油

百目

蜜陀僧

百目

黄蠟

子ツノ木実

サメ 松脂

麝香

油

丁香皮

煉様同前

能一切痛ヲ止膿兼ル腫物ナトニ付テ早ク膿ム

イニハラストアトストシ

イハラノ油

おノ油

白蠟

生肌

銀ノ口カス

乳香

煉様同前

能ヤケトニ良フ又膏藥ニ遣テモ良

イニハラストカラウヤテリ

野牛ノ油

乳香

白蠟

薰陸

録青

油

煉様同前

能疵ニ良久ク腫物愈兼ルニ良

イニハラストフロウノ方

白蠟 丁と 安息香 世と イハラノ花 子と 唐ノ土 子と

フタノ油 子と ウツホ草 子と 乳香 子と 銀ノ口 子と

煉様同前

能瘰癧一切愈薬

イニハラストステツヒテコシ

一 蠟 世と 袋角 子と 蕈モ子ノ実 子と 乳香 子と

秋ノ脂 子と 没薬 子と ヌブノ実 子と かりニ血 子と

油 世と

煉様同前

能

イニハラストキリヒシヨシ

一 安息香 子と 蠟 子と 唐ノ土 子と 竜胆 子と 乳香 子と

廉ノ油 子と

煉様同前

能一切ノ腫ヲヘラス能散ス

イニハラストアムホシコクトシ

一 白蠟 世と 唐ノ土 五と 石膏 五と ハウヤ 五と 油 五と

煉様同前

能下疳一切ノ物ヨクチラス

イニハラストフラニタサルウ

白蠟 丹 辰砂 油

煉様同前

能疵ライヤス小瘡ニ良

イニハラストラガツトブライシト

玉子ノ油 アシルノ油 丹 黄蠟 松ノ脂

煉様同前

能胃次せ一切ノ腫物温メ散ス

ハツハスノ方

ハツハスノ方 タニホ 没薬 ハツカノ花

ヨモギ 金銀花 ヒトモシノ白根

シノ子 イノント

右一ツニスリ合風腫ノ上ニ付成呈温メテラクヨクチラスルウ

マスル一切痛ヲ去ル

イニハラストメリロウト

サシハシガキ コロハ イハラノ花

野菊ノ花 サクロノ花 小アライノ花

サクロノヤニロ ケシノ花<sup>ロ</sup> 丁子ノ粉<sup>モ</sup>

内桂ノ粉<sup>モ</sup> 白蠟<sup>ハ</sup>目 松脂<sup>モ</sup> 安息香<sup>ト</sup>油<sup>百</sup>目

煉様<sup>ク</sup>シラ<sup>ラ</sup>スト<sup>ヤ</sup>リ

此膏<sup>モ</sup>葉<sup>モ</sup>筋<sup>モ</sup>迄<sup>ニ</sup>遣<sup>ル</sup>時<sup>ニ</sup>テ<sup>ハ</sup>シ<sup>イ</sup>ブ<sup>ン</sup>ゲ<sup>リ</sup>シ<sup>ウ</sup>シ<sup>ラ</sup>シ<sup>コ</sup>ロ<sup>シ</sup>ヨ<sup>ニ</sup>色

合<sup>テ</sup>付<sup>ル</sup>筋<sup>迄</sup>ノ<sup>仕</sup>懸<sup>療</sup>治<sup>ノ</sup>書<sup>ニ</sup>具<sup>ニ</sup>記

イニ<sup>ハ</sup>ラ<sup>ス</sup>ト<sup>サ</sup>ニ<sup>ト</sup>ラ<sup>ニ</sup>ク<sup>ニ</sup>ヨ

没<sup>薬</sup> 乳<sup>香</sup> 中<sup>リ</sup>ン<sup>血</sup> 阿<sup>仙</sup>菜<sup>ハ</sup>ウ<sup>ヤ</sup><sup>モ</sup>

嵐<sup>モ</sup>チ<sup>ノ</sup>実<sup>モ</sup><sup>モ</sup> 青<sup>木</sup>葉<sup>モ</sup>枚<sup>モ</sup> 木<sup>香</sup> <sup>モ</sup> 黄<sup>柏</sup>

沉香 地<sup>黄</sup> 大<sup>黄</sup> 黄<sup>連</sup> 白<sup>芷</sup> 川<sup>芎</sup>

山<sup>梳</sup>子<sup>ノ</sup>モ<sup>ク</sup>ハ<sup>シ</sup> 黄<sup>芩</sup> 芍<sup>薬</sup> 玄<sup>参</sup>

當<sup>皈</sup> 肉<sup>桂</sup> 人<sup>参</sup> <sup>モ</sup> 丹<sup>ホ</sup>百<sup>四</sup>十<sup>目</sup>

白<sup>胡</sup>芦<sup>ノ</sup>白<sup>油</sup> <sup>五</sup>百<sup>目</sup>

煉<sup>様</sup>口<sup>傳</sup>有

能<sup>一</sup>切<sup>ノ</sup>物<sup>ニ</sup>付<sup>キ</sup>事<sup>ヲ</sup>療<sup>治</sup>ノ<sup>書</sup>ニ<sup>記</sup>ス

油<sup>之</sup>藥<sup>方</sup> 合<sup>テ</sup>付<sup>ル</sup>時<sup>モ</sup>有<sup>一</sup>味<sup>宛</sup>付<sup>ル</sup>時<sup>モ</sup>有

テ<sup>ヤ</sup>ル<sup>テ</sup>イ<sup>ヤ</sup> 蠟<sup>ノ</sup>油

秋<sup>ノ</sup>脂<sup>ノ</sup>油 白<sup>百</sup>合<sup>ノ</sup>花<sup>ノ</sup>油

右<sup>敷</sup>ス<sup>ニ</sup>良<sup>是</sup>ニ<sup>テ</sup>不<sup>敷</sup>時<sup>ハ</sup>ム<sup>ス</sup>ラ<sup>キ</sup>ニ<sup>ラ</sup>ス<sup>付</sup>テ<sup>膿</sup>ス<sup>ル</sup>

一 かしりうし テヤハルニ 酢ヲ加諸 痲痛ヲ止ル 神妙シ

一 ハフ(草) コヤ子草 ホルトヤルノ油

一 右ノ草ノ汁五合宛取テ 蒸諸ニ合ニ成時ホルトヤル一ツニシテ 蒸諸置ヤ此方 腫物之疼有モ毎モ へうじチラスタメニ付也

中風ニ付ル油薬

一 野菊ノ花ノ油 白百合ノ花ノ油 狸ノ油 蚯蚓ノ油

一 丁子ノ油 イノシトノ油

一 右温メテ 手足ニ貼ル所ニスリ付上ラ不綿ニテ 蒸置ク

一切ノ物チラヌ油方

一 コニキキノ花ノ油 玉ノ油 百合ノ油

一 右合痛モ不痛ニモ 筋引ツルニモ

油取様之事

一 肉豆蔻ヲ細ニクク 干燒酒蒸スルコトク ラニシテ 中ニテセシ

一 口ニモメニラノ 一二寸程ニシテ サシテラケハ 午トクニ時油ハ上ニ

一 トクニ水ハ流ルニシ

一 右ノ油 腹中下リ痛時 花ノ蜜漬ニ此油四五露入テ用則

一 留ル疾ニモ良

一 茴香ノ油

石粉ニシテシキニテセシツホニ入テ置ハ油ハ下ニアリ水ハ上  
ニ有水ヲステテセシ水ケヲサレシ

膠中コハリ痛付サ湯ニテ之露程浮メ目ハ疝氣ニモ良  
テシメクイテ是ハ丹ニシテ取成ニシキヨシカス  
ハル云リ子細ハチ成古ヤね内ニ葉ノサヤサニ出タレ有此  
木ヲ立テヤウ木ノ木ヨリ節尺程上ノニシ中程ヲ一尺廻リ斗内  
一モ一尺訂穴ヲ明テ木ノ木七八尺上ヨリ青キカヤニテ包一日ノ  
内ニ度程火ヲ付温七八日如此ノ木ノ穴ヲサヤサケハ此物  
シツリ落タレハ溜リタレ時取出し錫ニ入テ湯煮ク煉ク加減

ハ少指ヲ破血ノ出ル程ニ此油自テ見ルニヤクシニタレラ  
吉加減トシテラスコニ入置阿蘭陀国ニテモ思様ニハ無トシ  
今町令口々ノ説アレテ請ヤタシ

一  
上ノ油取様トテハ無シ天地向ニ寒ノ国ニ無キト云テ毎日本  
ニモツ有由申置然所ニ江戸ニテ越後守殿家来ニテ子  
有ニ国シセシサリイタスア由申ニ依テ国ニテセシギノ油  
ニ味持考スルシ見ルニ色同匂同ヤシノコトクニテモ性  
心元ナク少ハ阿蘭陀ノ自リハウス中ニ依テ遺カクキ所ニメス  
テんヤント云阿蘭陀外科通詞西吉兵衛初年ノ時江戸

ニテ右ノ油ヲ見セケレハ半分取テよん故此方ニテ遣事ニヤト夕  
ツ子ケレハ是ハ末子ザル由イエルシヤウヲ傳右ノ油ヲ銅ノ鍋ニ  
入湯煉リニ半日留煉詰テ上テサシ燒物ニ入土ニサ日程  
入テ置重テ取出し遣由同届其如メツクイ覺んヤモ替  
ル事ナシ越後ニテハ不断トホシ油ニスル由一年代ニ立調由  
具ニ同届如斯予曰土ノ油越後ニテハクサウツト云

一 野菊 白百合

石ホルトヤノ油ニ廿日留付テ其後ツシテフラスコニ入テ日  
ニテテツカウラシコヤニテセシテモ取レ

一 蚯蚓ノ油葡萄酒ニ廿一夜置酒ヲコシテ取鍋ニハ蒸シ粉  
ヲ去テフラスコニ日ニテ使

一 油一切ノ物同草木花ノ類一色ニテ考ツル  
一 丁子ノ油道具多入殊ニ取トテモ太分物今ノ使事ツシ世  
上ノ者油取様皆シレリ

金瘡ノ事

一 疵有時淺中深中ニ依ス先燒酒ヲ温疵ヲ洗ヨリめん血ヲ  
コツケテ取サテ又リシ

一 疵縫様糸ハ常ノ麻糸トツ合まん口玉ニ和カニヨリめん

良サテ疵ノ真中ヲヌリテ二重ムスニヌリテ其後ニ両眼  
ヲ六七分間ヲ置ヌリヤカ疵ヨリ間ヲ置ク亦近ヨスル事  
モ有リトカウ腹トハセナカノ疵ヨリ糸目多クヌリ也ヌイ  
シニイ是ヨリ藥存録

玉子ニツ程白味計取箸ニテコク物交々、中上ニ浮淡ヲ捨  
ソノクマリ計取不綿ヲ疵ノ長サニコシテ木綿ノホツリ  
モ疵ノ長サニ右ノ玉子ニヒタシ置ヌ又木綿ヲ疵ノ長サニ是  
ハ酢ニヒタシ置

一番ニ燒酒ニテ洗 二番ニ縫 三番ニ玉子ニ付タム

ホツリヲ付 四番ニ不綿ニ付タムヲ三返カブセ 五番ニ酢  
ニヒタシタムヲ二返カセサテ上ヲ不綿ニテ三四返巻也如此  
疵ヨリテ一日ニ二度或ハ三度モ取替瘡治スル

腹ヲ切腸出タム時ハ先手ニ椰子油ヲ塗テ手ノ上ニ置疵ノ  
様子ヲ見届腸不痛ハ腸ヲ押込疵ノ真中ヲ先一針縫也其  
後両脇ヲ見合ニ合ニ合モ間ヲ置テ右ノ如縫也

腸冷テ不入時雞ヲ生テカウ腹ヲワリ人ノ腸ヲ鳥ノ腹ニ入テ  
温テ入ル亦曰腸不入時昆ナ子五合玉粉ニワタヲ持奇テ  
置後ニ右ノ昆ナ子水ニテ解ベツタリト塗テテラト其後入

一 フエカキタニ時終様如常は懸テフエラケガハヌヤウ終シフ  
エヤキタニ時下ノ方ハ外ニナリ上ノ方ハ内ニ入ル其儘ニテ愈セ  
ハ後ニ湯水ヲ吞時シハフ中出ル飯モ食ムカキ

一 フ又出入ノ時フエノ上ヌウ時服ヨリ引シメテヌウナリフエノ上  
シ一番ニヌウシ薬化懸右同前

一 疰ニ筋渡ト云傳有筋ト云ハ血ノ順ハ道ニ阿蘭陀ハ血ノ通イ  
能様ニハルサモト云油ヲ疰愈半ニ付ル疰ノ初ニハテシメシキ  
ナラシメ物ヌル阿蘭陀ノ国ニテケシクウラシテワキアフ時テ  
シメシキイサノアケラシリタニヤト云シリタニトコヌエタニ時ツキ

合テ死スルモアリアツカイニテシクモアリ殊好シム物シ

阿蘭陀妙薬

一 サラシカノ根柿ノ葉ニ包黒燻五々 甘草少

一 ホルトヤノ油ニテ煉合

一 竹不ニヨラストケラフツニヌル時白ニ抜テ奇効

一 ハウヤ ツアツン五々 竜胆 一々 丁香 一々 朱 一々 ホルトヤノ

一 ノ油ニテ煉合

一 右小瘡ノ類ニ付ル下疳初奈ニ付テヨク愈ス

一 疰愈ヤ子皮ツクウサニニ寄陀傳粉ニ拾リ懸其上ニテ

ヤハルニシラ付テ良

一 花ノ容疵薬也骨ニテ見ル疵愈菊ハ時少温メ塗テ此様白蜜ニ口ウサノ花ヲヨリテアスルサリ水気無様ニ置口ウサ無時ハ花ノ水ト白蜜ホ合ニ合置シ

一 アサノミノ油筋引ツルニ付テ良

一 身内冷テスリニ手足ナハム時亦ハ骨痛筋カニムン時口

ウサ 野菊合テ温メ塗ル

一 ケニ中コハリ亦ハ惣身コハリムン時 野菊ノイノコト油テヤ

ルニ色温メ付ン道ト行コブウカエリシムンモ良

一 腰ノ廻リ筋引ツリムンニイノコトノ油 野菊ノ油 ツノミノ

油 丁子ノ油 四色ホ合ニ合付ン

一 鼻血ハじんニ 琥珀ノ油 鼻ニヨリニテ入ルツヨクニ口

ニテフヤコム

一 中風ニテ筋ナハムニハ ヨモギノ莖ノ油 白鳥ノ油

一 雞ノ油 赤分ニ合付ン二三日付テ後 シヤキ草

一 小蓼 二色午一束ニ煎其汁ニテヒメ物洗粕ヲ湯

午ニスル其後亦本ノ仕懸シ

一 午足骨痛時 小茴香ノ油 コハリノ油 シ切草ノ油

右温メ塗ル身ニモ良

一 女ノ上氣 血面ニ上リ赤ク成時

琥珀ノ油 之滴呈盃半分程酒ニ入テ用ル

氣ノ遠クニ各ノ上トホコノクホト西ノ脉所ニ少塗テ良也

風ニアタリタニ五射ニ塗ル

一 松ノ花ノ油 大茴香ノ油 麻仁ノ油

寒ノ天ノ時分手足カ、ニ雪ナトニアリテ痛時温メ付ル

一 雞足草 川骨 葉アライ

右テテ 人參一匁 打取テ滴ニテ用ル

一 ミリシガ 虫クヌシ也大人ニハ一匁小兒ニハ七分五合用

前黒砂糖ヲサ湯ニテ少吞セ其後鼻ヲフサテ粉薬ヲ

水ニヤ中ニセ一度ニ用ベシ大人小人此句ヲ知シ小虫不下此ニ

リシカ日本ニテ子ヲロシ草ト云

一 石淋ニフハクノ油 松ノ実ノ油 又ニハシノ油

サ湯ニテ用

一 脱肛入氣ルニ ロガアト 又フノ実ノ油

二色ホ分ニ合温脱肛ヲ腰湯ノ温此油付テ綿ニテ押込

一 一切ノ腫物膿痛時小莖ノ葉ヲク、チククキキ上ニナリ

ロゲト白丁不綿ニテ巻置ク早ク膿シ

一 疱瘡 疹<sup>ハシカ</sup> 肉ニ有テ出兼ルニ

海ヤシホ 五々 カシヒノ実 三々 广香 少 肉桂 二々

苗香ノ花

石粉ヨ白湯ニテ茶一服呈用ル一切小瘡<sup>ヤサ</sup>出兼ルニ良

一 耳ノ痛ニ物ノ出来タリニモ アメントウノ油入ル外ニモ

塗ル

阿蘭陀カスルン流ナ七方

正ニハロウスノ部 カメ膏藥之事

正ニフラストカラサテイヤ

一 蠟 四十目 松脂 日 野菊油 日 テレメニテイナ 二十目

乳香 一 ステイス 玉乳香枚脂ノ一 冬ニ々

右煉様松脂野菊油テシメニ蠟四色ヲ鋸ニ入ソロクト煉

中比ニ乳香枚脂為未入淡止ヲ度トス

能用痛強時和ク

正ニハラストテヤハルニ

一 ホルトカレ油 二升半 蜜佗僧 日白中良 家栴ノ油 日 百八十目

明凡焼返 四十目 白且凡 日

右煉様ニ油 鷓ノ入能煉 蜜佗僧 未ノ油 入火上ニテ煉  
ハ堅ル 淡止時ニ凡 入煉上ル

能用右同

一 丑ニハラストテヤホニホリコ 平也

ホルトカレ油 半升 白小茄子 生ニテ皮實ヲ取 半升  
スリクム中

白蠟 百廿目 唐ノ土 廿目 ニキレアルコ 五葉松ノ脂 廿目 半升

ナマリセニクツ焼返 十五

右煉様同前

能用皮ヲ生 愈肉上テ能愈ス

一 丑ニフラストテヘシイブシ

紫檀 廿目 イハラ花 十二目 生臈 二目

花ノ水 忍冬花六十目 蠟 一升半 マルテロウル 廿目  
カヤノミノ油  
タブノミノ油

タフノミ生ニテスリ爲粉 ホニスアルナニヤノ實生ニテスリ末  
アルメニヤ煮ホノイ

右煉様同前

能用諸腫物之腫ヲ一ラシ熱氣モ去ル

一 丑ニフラストムスラキニブス

一  
ムカデノ油 ラクリヤニキリシ 六十目 性不知 アモニヤクニ 五目 ハタチヤ麦白ラ粉ニ

カハハヌニ 柘榴皮シ五目 ラホナクシ 五目 サヤハ三五目 日本ノ大葉ニ

ウコン 二目 蠟 百四十目 テレメンテイノ油 廿目 コロハ 五目

右煉様同前

能用 腫ヲハラシ熱ヲサマス若腫熱ハ不去ハ早膿ム

又ニフラストワシコロシヨ

一 蠟 六十目 松脂 廿目 アモニヤクニ子ブノ木ノ脂 廿目

一 スライセス秋ノ脂 二十目 ナヤシ 廿目 ウコン 廿目

カハハヌニ 柘榴皮ノ一目 没薬 廿目 テレメンテイノ油 廿目

ホルトカノ油 少加テ良

右煉様同前

能用 筋ヲ和腫ヲ減シ熱ヲサマシ痛ヲ止骨折ハん

ヲ續万堅ニリシ和テ手足クダチハんシヨリス

中風脚氣ニ良

又ニフラストデヤキロン

一 ムカデニスノ油 シハリヨカニキリ 唐コニノ油ニ五子 三斤半 一金ノルヤス 一行半 水ハ泥ハノ 三十目ニ入

松脂 十目 乳香 十目 コロハ 五目 黄蠟 十目

右煉様同前

能<sup>レ</sup>用<sup>レ</sup>疵<sup>ヲ</sup>愈<sup>シ</sup>堅<sup>リ</sup>和<sup>リ</sup>

ユニ<sup>ラ</sup>ラ<sup>ス</sup>ト<sup>ゲ</sup>ジ<sup>リ</sup>ウ<sup>シ</sup>

ラ<sup>ア</sup>ヒ<sup>ス</sup>カ<sup>ラ</sup>ミ<sup>ナ</sup>ア<sup>リ</sup>ス<sup>白</sup>石<sup>ノ</sup>イ<sup>ナ</sup>ナ<sup>ニ</sup> 一人<sup>金</sup>山<sup>ノ</sup>ム<sup>ミ</sup>ヤ<sup>ウ</sup>ト<sup>ウ</sup>

石<sup>モ</sup>ツ<sup>ヤ</sup>ク<sup>ニ</sup> 生<sup>腦</sup> <sup>一</sup>分 <sup>金</sup>ノ<sup>ん</sup>カ<sup>ス</sup> 三十<sup>目</sup>

カ<sup>ル</sup>ハ<sup>ヌ</sup>コ<sup>四</sup>分 <sup>枚ノ</sup>脂<sup>上ニ</sup>格<sup>格</sup>皮<sup>ト</sup>リ<sup>可</sup>考<sup>ト</sup> 唐<sup>ノ</sup>土<sup>五</sup>分 <sup>ト</sup>ウ<sup>テ</sup>ヤ<sup>ト</sup>エ<sup>ト</sup> 白<sup>カ</sup>子<sup>ヤ</sup>フ<sup>イ</sup>ゴ<sup>ノ</sup>上<sup>ノ</sup> <sup>ユ</sup>エ<sup>コ</sup>

白<sup>蠟</sup> 廿<sup>五</sup>分 <sup>テ</sup>レ<sup>メ</sup>ニ<sup>テ</sup>イ<sup>ナ</sup>油<sup>十</sup>分 <sup>乳</sup>香<sup>四</sup>分

野<sup>牛</sup>油<sup>廿</sup>目 <sup>鹿</sup>油<sup>モ</sup>良

右<sup>煉</sup>様<sup>同</sup>前

能<sup>用</sup>骨<sup>筋</sup>リ<sup>ク</sup>チ<sup>ケ</sup>熱<sup>ヲ</sup>サ<sup>シ</sup>腫<sup>ヲ</sup>へ<sup>ス</sup>

イ<sup>ニ</sup>ク<sup>エ</sup>ト<sup>ノ</sup>部 <sup>軟</sup>膏<sup>藥</sup>之<sup>事</sup>

イ<sup>ニ</sup>ク<sup>エ</sup>ト<sup>メ</sup>リ<sup>ロ</sup>ウ<sup>ト</sup>

一 <sup>ス</sup>ミ<sup>ツ</sup>メ<sup>リ</sup>ロ<sup>ウ</sup>ト <sup>ハ</sup>ウ<sup>コ</sup>草<sup>ノ</sup>花<sup>ノ</sup> <sup>六</sup>十<sup>目</sup> <sup>ホ</sup>ロ<sup>ク</sup>ス<sup>ア</sup>フ<sup>セ</sup>ニ<sup>テ</sup> <sup>三</sup>分

野<sup>菊</sup>ノ<sup>油</sup> <sup>三</sup>分 <sup>ニ</sup>ヨ<sup>リ</sup>ニ <sup>コ</sup>ロ<sup>ハ</sup> <sup>バ</sup>ク<sup>シ</sup>ロ<sup>ウ</sup>リ <sup>九</sup>分

ウ<sup>テ</sup>イ<sup>ズ</sup>ア<sup>ル</sup>テ<sup>イ</sup>ヤ<sup>ニ</sup>分 <sup>シ</sup>ヒ<sup>リ</sup>イ<sup>テ</sup>イ<sup>ス</sup> <sup>ス</sup>ヒ<sup>カ</sup>ナ<sup>ン</sup>テ <sup>六</sup>分

肉<sup>桂</sup> <sup>ニ</sup>分 <sup>セ</sup>ミ<sup>ヨ</sup>ア<sup>ミ</sup>ヨ<sup>ス</sup> <sup>日</sup> <sup>セ</sup>ミ<sup>ア</sup>ツ<sup>ヒ</sup> <sup>日</sup> <sup>縮</sup>砂<sup>日</sup>

ア<sup>ン</sup>モ<sup>ア</sup>シ <sup>十</sup>分 <sup>コ</sup>ウ<sup>ニ</sup>ニ<sup>テ</sup>リ <sup>五</sup>分 <sup>ス</sup>テ<sup>ラ</sup>ウ<sup>ス</sup>カ<sup>ラ</sup>ミ<sup>イ</sup> <sup>日</sup>

テ<sup>レ</sup>メ<sup>ニ</sup>テ<sup>イ</sup>ナ <sup>十</sup>分 <sup>ヒ</sup>イ<sup>ク</sup>ス<sup>セ</sup>カ<sup>リ</sup> <sup>松</sup>脂 <sup>九</sup>分

オ<sup>イ</sup>ノ<sup>ん</sup>シ<sup>シ</sup> <sup>四</sup>十<sup>目</sup> <sup>蠟</sup> <sup>八</sup>十<sup>目</sup> <sup>ア</sup>フ<sup>リ</sup>ヒ<sup>ス</sup>カ <sup>二</sup>十<sup>目</sup>

アフリノヨウチ 卅目

右煉様何モ粉ニ油入煉

能用温ニ腫ヲ減ス熱性ノ腫物ニハ不用

イニクエコトカラフドウシ

花ノ油 長春花

百ナメ

白蠟

卅目

生腦

但花ノ油ニテツキ合煉ニク

唐ノ土

少後ニハル

右煉様同前

能用熱性ノ腫物ヲサスニ良

イニクエコトテニクニヨ

丹砂也  
テニクニヨ一介

ホルトヤルニ介

蠟 半介

テシナンテイナ四ナ目

ナニリメセンクツ

但ホウロクニ入イワウサ入ヤキ返

卅目

右煉様同前

能用熱ヲサシ金瘡下疳腐止愈肉上皮ヲ生シ

其処葛ニ古

イニクエコトシナリウシ

黄蠟 卅目

松脂

卅目

ホルトヤル

ニ介半

テシナンテイナ 卅目

乳香

ナメ

蚊ハ脂

ニスラセイヌ

ナメ

身フシ

右煉様ホルトヤノ油テシタニテイナ枚ノ脂黃蠟四種錫入  
煉其後乳香松脂粉ヨ入煉合錫ヲ下シウコンヲ入  
能ク煉口傳

能用腫ヲ減シ痛ヲ止下地ニ是ヲ塗付其上ニカラ

サテイヤカテヤキロシカ付テ一日モ様子可見

イニクエトエケフヤフコ

録青 五十目 明丸 ヤキ返ナ 右ニ味錫ニハ煮シ

メイん 百四十目 生酢 七十目 右ニ味ハ後ニハ

右煉様ホケ色ニ成まん時良

能用平ニ右ノヲリウニ付テ功ナキ時是ヲ付テ加

減ヲ可見腫ヲ減シ痛ヲ止腐ヲ止殊ニ便毒ヲ散ス

其外ノ諸腫物ニ古古疵或腫物古膿有時付ん悪

肉古血去愈肉肌上テ愈膏葉付

イニクエトハシリコ

蠟 八十目 千ヤシ 八十目 松脂 二介 ホルトヤノ油 二介

鹿ノ油 小茶碗一つ量

右煉様ホルトヤノ千ヤシ 蠟松脂浸シ入右日前

能月シヨクスリ膿毒吸薬

イニクエニトアプストロウレンシ 口トウリウシ

アモニヤクシノコ十四々 ハタカマノ白ヲ粥ミキキ布ニテコシイノントノ油  
少加テ子リカクムン

松脂 十四々 テレメニテイナ油 日 蠟 日 金ノルカス 九々

アルストロ中 ナニリノ  
ヤキ返シ 没薬 五々 乳香 日 柘榴皮 粉ニ入ル

秋ノ脂 アルハスシノ粉 四々 丹丸 ヤキ返シ 五々 録青 二々 上サニ入  
テ吉

ホルトアノ油 半斤 生酢 五合

右煉様 同前

能用膿血ヲ扱是ニテ又テザン時ハペシジビニトテ赤

中 石薬有是ヲ加メイキヤニノ疔ノ口ニ押コキ一兩日モ

様子 可見

イニクエニトアプストロウレンシ

一 鷹ノ油 犬ノ油 アヒノ油 狐ノ油 茴香ノ油 各半目

カモメイノ油 タフノ油 蝟野ノ油 各十々

コハクノ油 石ノ油 土ノ油 各五々 テレメニテイナ油 半目

右煉様 一次煮上テ鋸ヲ下シアウキ酒十五々 蠟 半斤 木

ルトカハ世目入 常ノイニクエニヨリユルク煉

能用筋骨中凡脚氣傷寒ノホリハシ水ニシホシヒ

ハ 又ニ者四足イニシ右ノ薬ヲ午ヨリニサ入ホントカハサ

加火辛湯の宿辛アツキ程の塗コゝ其上ニラシコ  
 コシヨテハニスイフコト又膏の薬也

イニクエトステアグシ 萬能膏

一タフノ油 ナセム 白蠟 五十目 唐土 百目

白カキヤファイコト上ノ  
 トシヤニニシ  
 トウテヤ ナセ

アツリノセニクヅ ナセム

右煉様 イニクエトヨリサヤヌクニセ

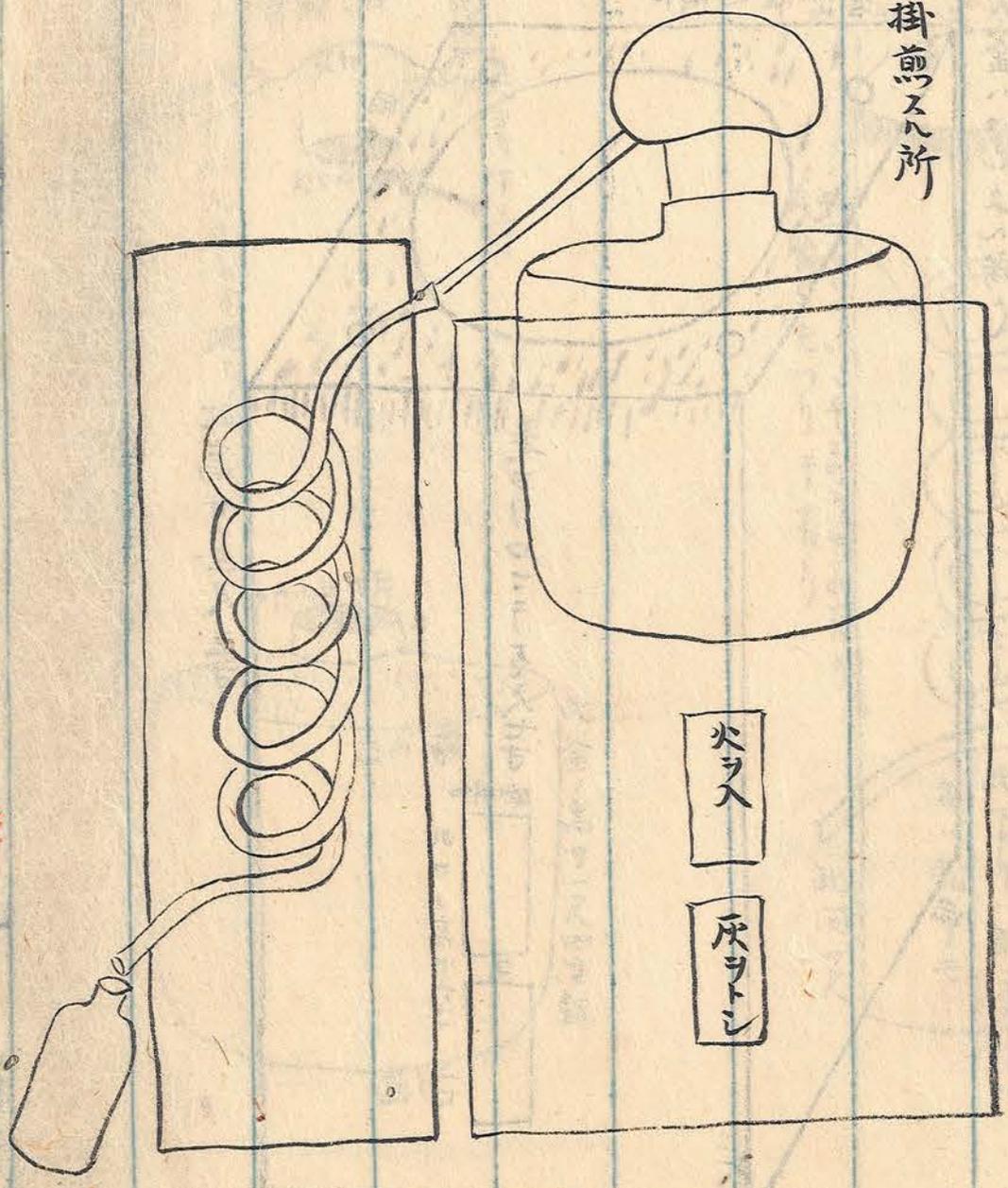
以上ナセ方

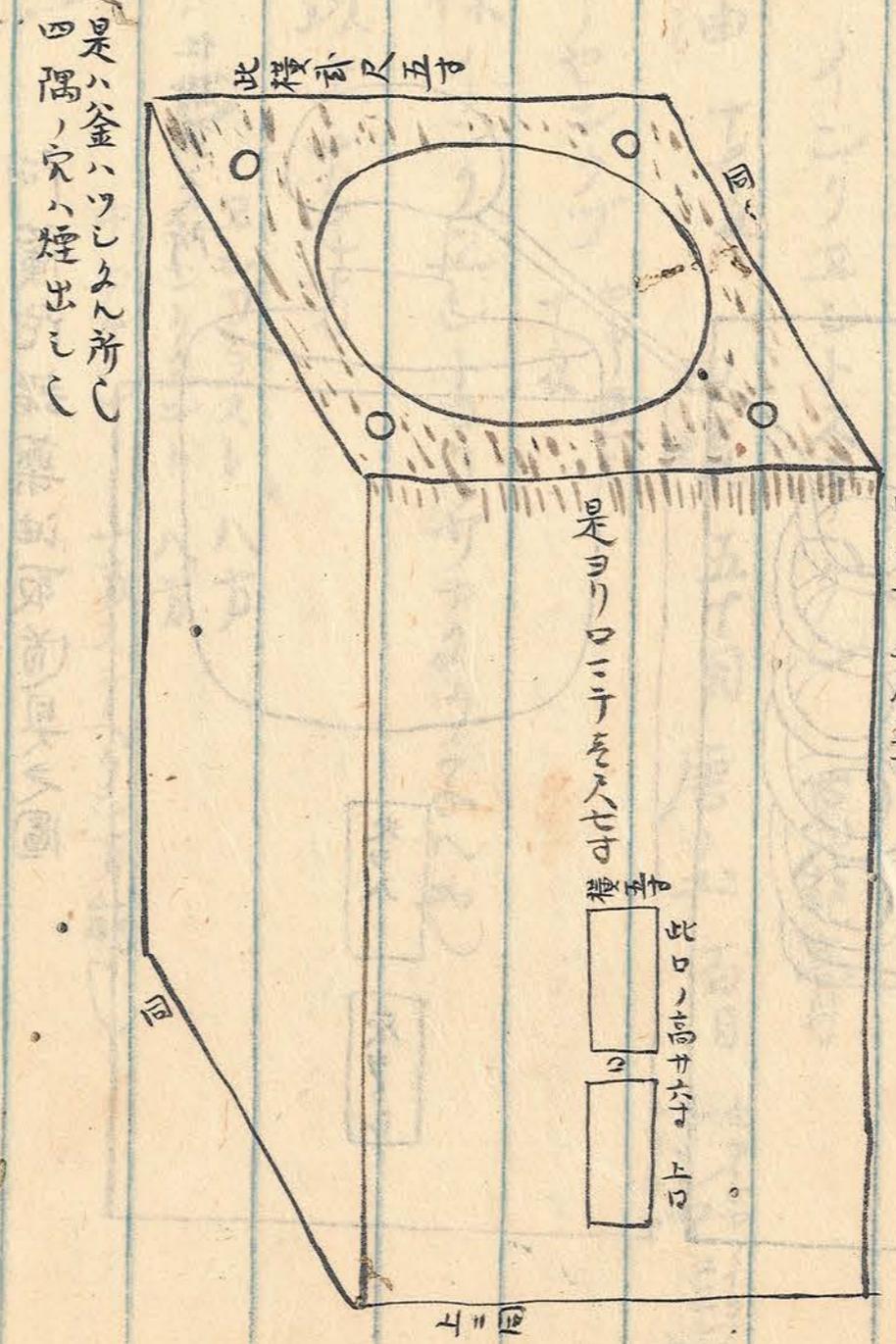
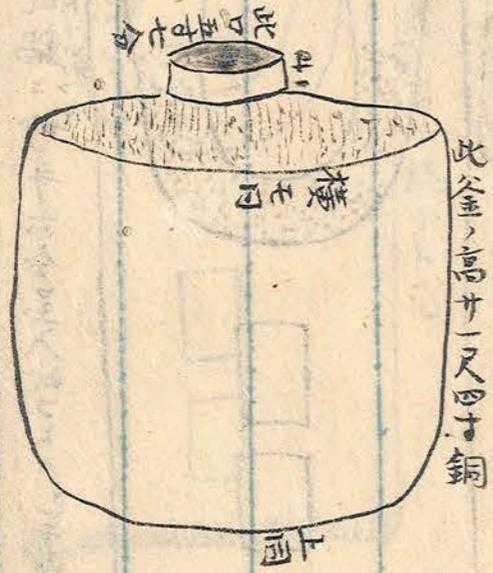
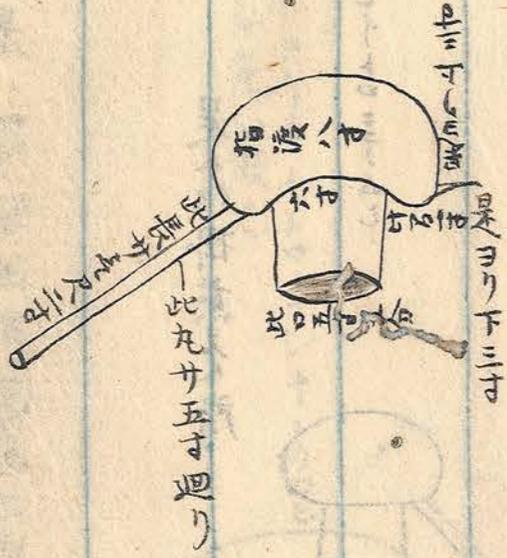
内 エニワラスト 八方  
 イニクエト 八方

中カケシ 一方ステハクニ方能シ

阿蘭陀諸薬油取道具之圖

是ハ仕掛煎スル所





是ハ釜ハツシム所ノ  
四隅ノ穴ハ煙出ス

是ハ樟腦油取道具之圖

是ハ仕掛煎入所

先一番ニ此コイトロミテムシ  
其後ニ

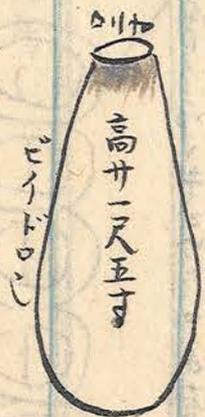


此鍋ニ砂斗六分呈入此コトクニテ炭火ニテソク



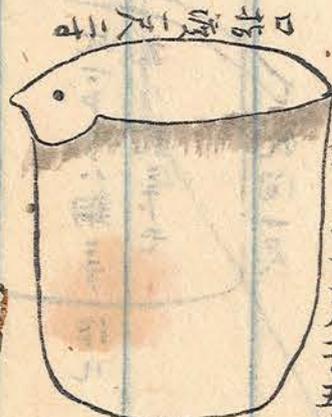
高サ五分

此器一尺



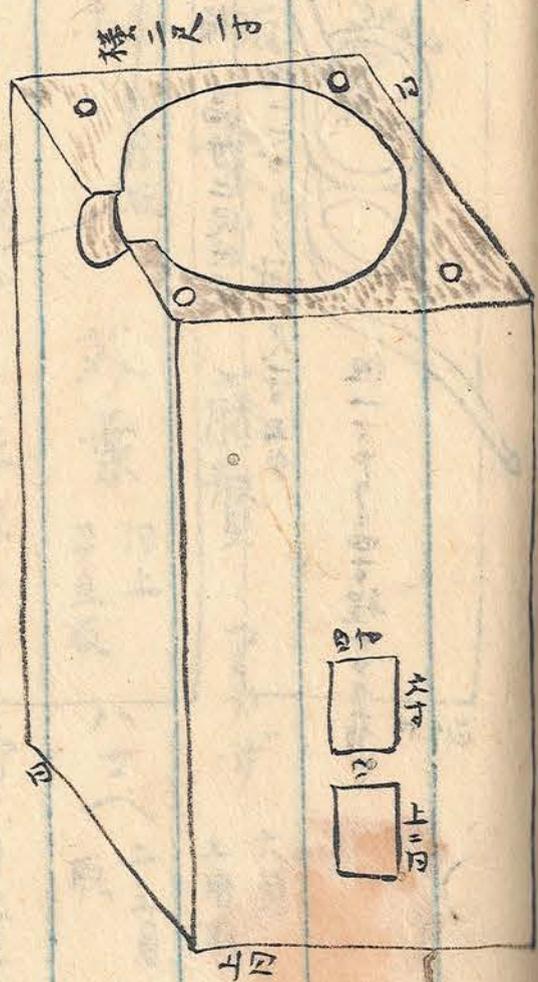
高サ一尺五寸

此器一尺



鍋ノ高サ一尺五分

此鍋鉄



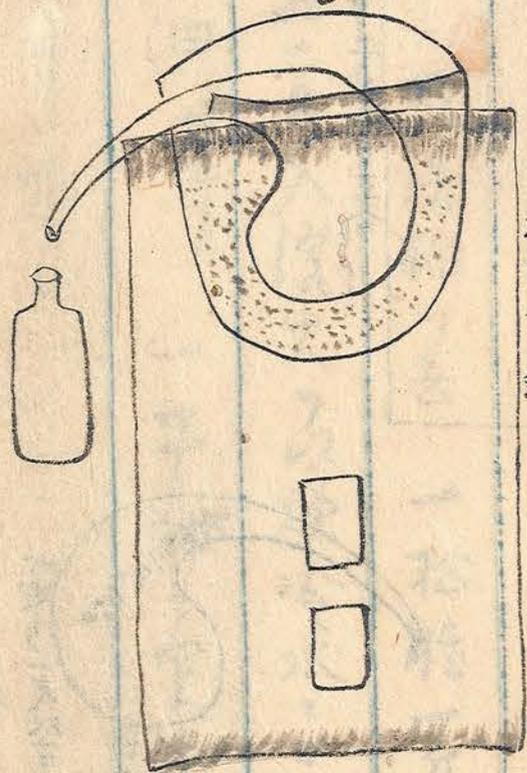
横一尺七寸

上二寸  
下二寸

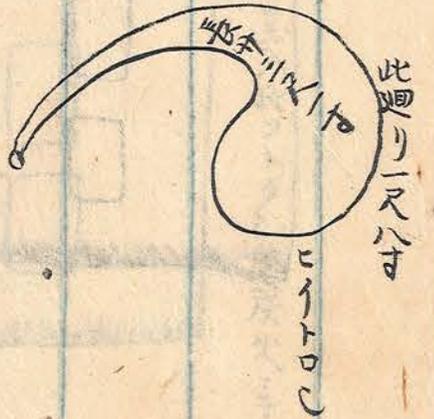
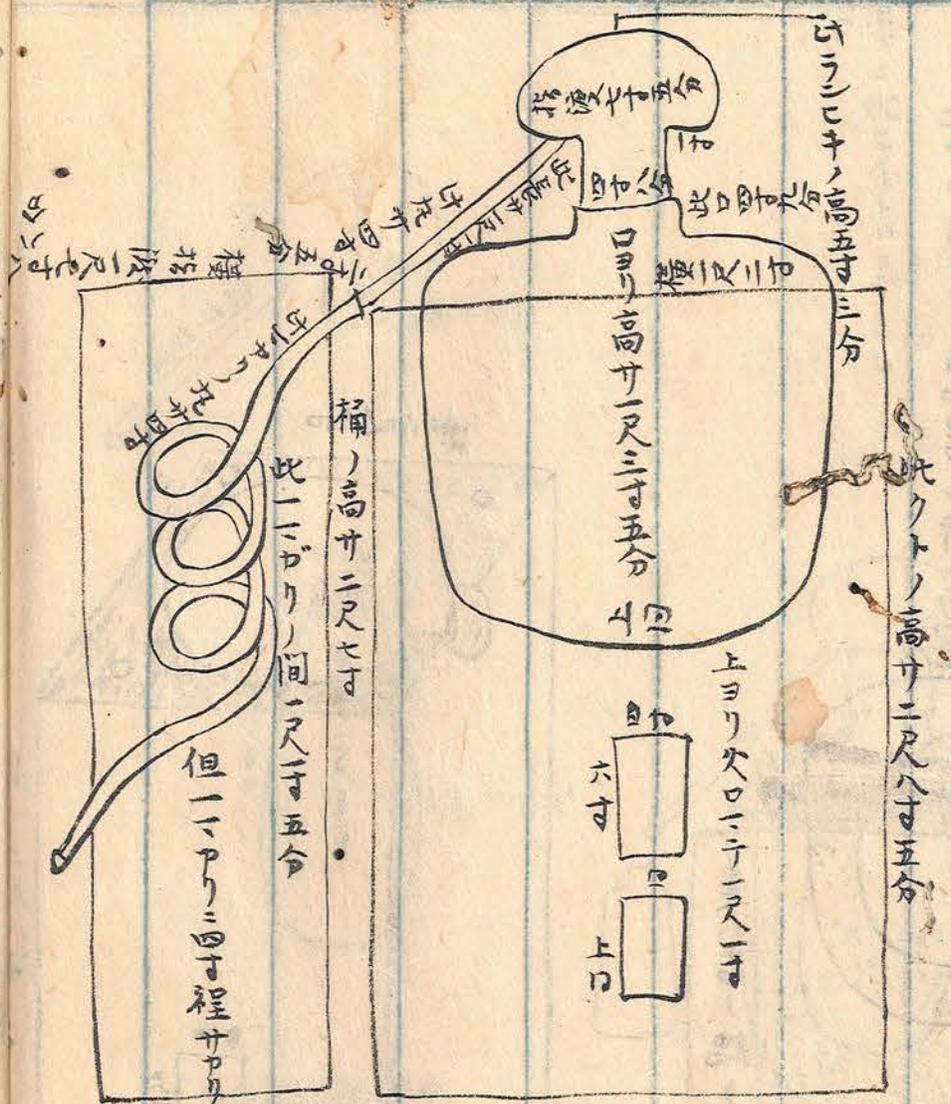
四寸

是ハ右ノ鍋クト

此ニヤリコイトロノコシキニウツシ  
ムシ煎シ取



是ハ小釜



### 神后膏

一 青木葉 四月取 桑皮 藤贅 アカザ 六月 土用取 キラコ草

正二月取 香下竹 栢葉 五月取 芥葉 日上 早且取 ハコハコ 二三月 五月苗 盛取

松縁 三月取 楮皮 梶 古畦麻 七月比野 自生みん取

右ノ味水之無入五合ニ並洗物ヲ去 一松脂一斤 右ノ味水之無入五合ニ並洗物ヲ去 一松脂一斤

右ノ味水之無入五合ニ並洗物ヲ去 一松脂一斤

一香油 二合五分 右ニ色入續火ヲ以煉冷水ニコシ入其後

一にしノ油 廿目 一香油 廿五文 一串柿ノ實黒シテ

右一ツニ入續ト煉堅甲ト爲シ



